

卵の殻で工作を楽しむ来場者ら＝9日、
名護市民会館中ホール



卵 食べて遊んで 県養鶏協 エッグの日

【名護】卵の消費拡大や正しい知識
を持ってもらおうと、県養鶏協会(安次
富均会長)は9日、名護市民会館中ホー
ルで、「エッグの日イベント」を開催した。

大勢の親子連れらが訪れ、卵の
重量当てゲームや殻を使った
工作など、卵にちなんだ多彩な
楽しを楽しんだ。

8月9日の「エッグの日」は、夏場に
伸び悩む卵の消費促進を図ろうと、
「1日2個の卵を食べよう！」を標語
として、同協会が2008年に制定した。

卵の殻で工作をした沖縄市立美東小
4年の黒川優愛さん(9)は「ヒヨコを作
った。穴を空けるのが難しかったけ
ど、楽しかった。卵焼きが好き」と笑
顔で語った。